

救急車を上手に使いましょう！

救急車が必要なのはどんなとき？



“いのち”をはこぶ救急車

適正利用に協力を！



本当に必要か

考えてみましょう



実際に救急車が呼ばれたケース

- ◆ヘルパーを呼んだが来てくれなかったので、代わりに救急車を呼んだ
- ◆蚊に刺されてかゆい
- ◆海水浴に行って、日焼けした足がヒリヒリする
- ◆今日入院予定日だから、病院に行きたい
- ◆病院で長く待つのが面倒なので、救急車を呼んだ
- ◆病院でもらった薬がなくなった



ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性あります。

顔

顔半分が動きにくい、
あるいはしびれる
ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
ろれつがまわりにくい、
うまく話せない
視野がかける
ものが突然二重に見える
顔色が明らかに悪い



頭

突然の激しい頭痛
突然の高熱
支えなしで立てない
ぐらい急にふらつく

胸や背中

突然の激痛
急な息切れ、呼吸困難
胸の中央が締め付けられるような、又は圧迫されるような痛みが
2~3分続く
痛む場所が移動する

手足

突然のしびれ
突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

腹

突然の激しい腹痛
持続する激しい腹痛
吐血や下血がある



意識の障害

意識がない(返事がない)又は
おかしい(もうろうとしている)
ぐったりしている



けいれん

けいれんが止まらない
けいれんが止まっても、
意識がもどらない

けが・やけど

大量の出血を伴う外傷
広範囲のやけど



吐き気

冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

食べ物をのどにつまらせて、
呼吸が苦しい
変なものを飲み込んで、
意識がない



事故

交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
水におぼれている
高所から転落

その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

ためらわず救急車を呼んでほしい症状 : 小児 (15歳未満)

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性があります。

顔

くちびるの色が
紫色で、呼吸が弱い



頭

頭を痛がって、
けいれんがある
頭を強くぶつけて、
出血がとまらない、
意識がない、
けいれんがある

胸

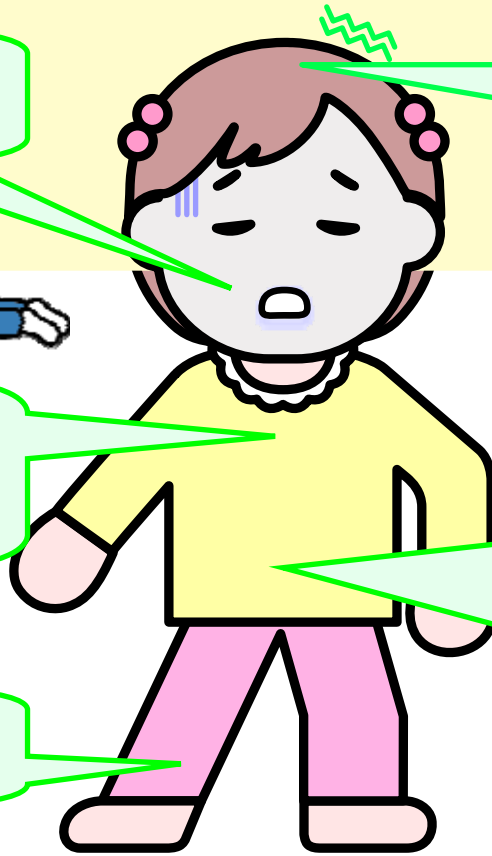
激しい咳やゼーゼー
して呼吸が苦しく、
顔色が悪い

おなか

激しい下痢や嘔吐で
水分が取れず
食欲がなく意識が
はっきりしない
激しいおなかの痛み
で苦しがり、
嘔吐が止まらない
ウンチに血がまじった

手足

手足が
硬直している



意識の障害

意識がない(返事がない)
又はおかしい
(もうろうとしている)



けいれん

けいれんが止まらない
けいれんが止まっても、
意識がもどらない

飲み込み

変なものを飲み込んで、
意識がない

じんましん

虫に刺されて
全身にじんましん
が出て、顔色が悪くなった

やけど

痛みのひどいやけど
広範囲のやけど

事故

交通事故にあった
(強い衝撃を受けた)
水におぼれている
高所から転落

生まれて3カ月 未満の乳児

乳児の様子がおかしい



その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合